

学校感染症予防対策／衛生管理マニュアル

令和3年4月改定

◆消毒液保管場所

※保健室保管：アルコール消毒液・次亜塩素酸ナトリウム溶液・ハンドソープ（原液）

※教室内設置：ハンドソープ（500mlポンプ）

アルコール消毒液（1000ml） ペーパータオル（消毒用）



保健室 健康安全係

筑波大学附属視覚特別支援学校

◆一日の行動マニュアル

	教員	生徒
登校後 ()	①健康観察 健康観察表をまとめて保健室に提出 * 自覚症状、他覚症状(右枠の保健室資料参照)	①手指消毒(手洗いの手順に沿って) ②給水
授業中 (授業担当)	①換気 廊下側片側開戸・窓側10cm程度開窓 ②原則としてマスク着用で授業を行う	①マスク着用 原則マスク着用を推奨するが、生徒の体調により判断する ※発言時、咳症状のある場合は必ずマスクを着用する
各授業後 (授業担当)	①消毒(アルコール消毒液を使用) ■ドア取手(その周辺) ■教卓 ■生徒が触れた物品等 ②換気 廊下側扉、窓を一度全開にして3分程度換気を行う ③健康確認 生徒への声掛け確認を行う	①マスク着用 近距離会話時、咳症状のある場合 ②手指消毒(手洗い手順に沿って) ③行動自粛 不必要なクラスの往来等 ④給水
昼休み ()	①換気 廊下側扉、窓を全開にして換気を行う ②健康観察 HRで体調の変化を観察する	①手指消毒(手洗いの手順に沿って) ②給水
放課後 ()	①体調確認 観察、声掛け等で体調確認を行う	①体調確認(セルフチェック) 体調の変化があれば担任、保健室に相談する
下校後 ()	①消毒(アルコール)・・・主に共用部分 ■ドア取手(その周辺) ■水道蛇口 ■教卓 ■ロッカー ■生徒机 ■スイッチ(エアコン・照明電源) ②ごみ捨て ゴミ箱2/3程度を目安にごみ捨てを行う	外出の際は感染対策(マスク、手洗い、密を避けるなど)を忘れずに。 生活習慣を整えて明日に備えよう！ (食事・運動・睡眠・ストレスをためない)
◆共用部分の消毒 【清掃員の方の担当】 日中(10:00～15:00) ■トイレ内ドア ■階段手摺 ■校舎入口 ■自販機 【保健室の担当】 放課後(16:10～) ■校内巡回時に共用部分を消毒する 【体育科】 ■入口 ■更衣室など 注)他学部で体育館を使用する場合は、当該学部で指定箇所の消毒を行う。	◆衛生用品の補充 アルコール、ハンドソープ、ペーパータオルは必要に応じて随時保健室にもらいに行く マスクは職員室へ。 ※衛生用品補充は、各教科で担当を決めて対応してください！	

【生徒の自覚症状・他覚症状】

★外見からわかる項目（他覚的状況）
☑顔色が悪い、☑元気がない、☑眠そう、☑だるそう、
☑咳をしている、☑鼻水、☑鼻づまり、☑いつもと違った様子 など

★本人の訴えによる項目（自覚的状況）
☑頭痛、☑腹痛、☑発熱、☑気持ち悪い、☑眠い、☑のどが痛い、
☑吐気、☑下痢 など

【保健室での対応】

★保健室のドアは常時、開いたままになっています。
・付き添いの先生（または生徒）は、中に入らず入口で症状を教えてください。
・怪我の場合は保健室で処置しますが、体調不良の場合は265で対応します。

【冷水器】

★直接飲まないようにする

【消毒のやり方】

★生徒の手指消毒

基本は手洗い・顔をいじらない

手洗いの6つのタイミング

- ・外出後・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ・掃除後・トイレの後・食事の前
- ・共有物を触る前後

★手洗い順序（必須）

step1 流水で手全体を濡らす
step2 ハンドソープで良く泡立てる
step3 イラスト(下図)の箇所を良く洗う
step4 流水でしっかり流す
step5 きれいなハンカチで拭く
step6 アルコールを片手にワンプッシュして両手全体に馴染ませる

注) アルコールが使用できない生徒がいたらノンアルコール除菌シートを使います。
注) 基本はきちんと手洗いを行う事です。消毒液に頼るのではなくしっかりと手洗いすることでウイルスを洗い流すことができます。

★環境消毒

アルコール消毒液を用いた消毒（各教室の共用部分や共用物）

- ・アルコールスプレーボトルからアルコールをペーパータオルに吹き付けて所定の場所を拭く。

注) 火気の近くでは使用しないようにしましょう。
注) 詰め替えを行う場所では換気をしましょう。
注) 保管場所は直射日光が当たる場所を避けましょう。

★熱中症の危険性（水筒を準備しよう！）

高温多湿の時期に加えて、マスクを装着するため「熱中症のリスク」が高まる危険性が指摘されています。生徒の体調変化を「熱中症」の観点でも注意して下さい。※マスクにより口内が多湿となり、喉の渇きが感じにくくなります。こまめな水分摂取を促してください。

【熱中症初期症状】 立ちくらみ・顔のほてり・けいれん・倦怠感・吐気etc.

【消毒液特徴】

次亜塩素酸ナトリウム溶液による校内の消毒は、養護教諭と清掃スタッフ（委託）で行います。

- ①アルコール（エタノール）
- ・インフルエンザウイルス、コロナウイルスに効果が強い
 - ・石鹸手洗いとの二重使用で殺菌効果が倍増する
- ②次亜塩素酸ナトリウム溶液
- ・家庭用の塩素系漂白剤、殺菌剤に使用される
 - ・細菌、ウイルス、カビに対して効果があります
 - ・強い酸化力があり金属に使用すると錆が生じやすい
 - ・皮膚につくと火傷症状が出る場合がありますので注意が必要



*このマニュアルは、感染防止対策を見直していく中で、今後、変更される可能性があります。